

PRESS RELEASE

■本資料は、福山市政記者クラブで配布しております。

2017年5月11日

報道関係各位

社会福祉法人祥和会

脳神経センター大田記念病院の「祥和会グループ」初 複合型施設「五本松の家」(地域密着型特別養護老人ホーム・デイサービス) **6月1日(木)オープン!** ～ 7月1日(土)には、施設内に「ショートステイ 五本松の家」もオープン! ～ **広島県初「暮らしの保健室」を併設**

社会福祉法人祥和会(理事長・大田泰正/本部:福山市多治米町)の中核的施設として、昨年10月より建設を進めてきました複合型施設「五本松の家」(施設長・田原久美子/所在地:福山市多治米町)のうち、「地域密着型特別養護老人ホーム」「デイサービス」を6月1日(木)に、「ショートステイ」を7月1日(土)にオープンいたします。



「五本松の家」は、

- ◎**地域密着型特別養護老人ホーム**
(定員 29 名/6月1日入居開始)
- ◎**ショートステイ** [短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護]
(定員 20 名/7月1日サービス提供開始)
- ◎**デイサービス** [通所介護・介護予防通所介護]
(定員20名/6月1日サービス提供開始)

の、3つの 機能を持つ複合型施設です。

また、「五本松の家」には、広島県内で初めて「**暮らしの保健室 ふくまち**」(地域交流スペース)を併設します。これは東京・新宿で25年にわたり訪問看護に取り組む、秋山正子さんが提唱するもので、その運営コンセプト・手法ならびに名称利用の許諾を得ました。この空間では、保健師や看護師などが、地域にお住まいの方の健康相談、介護相談に応じるほか、介護予防や健康づくりの講座・セミナーの開催、地域の子どもの支援等に、地域住民やボランティアの協力を得て取り組み、施設が位置する通称・五本松地域の健康や福祉の拠点となるよう、努めてまいります。

5月19日(金)、オープン前の「内覧会」を開催します。

【とき】 2017年5月19日(金) 10:00-12:00 地域住民・一般・**報道機関**の方
14:00-16:00 医療・介護機関の方

【ところ】 福山市多治米町 6-14-26 旧福山競馬場前

【報道関係の皆さまへのお願い】 取材をご希望の場合、説明員を確保するため、事前にお電話にてご連絡をいただくと幸いです。 [担当:五本松の家・施設長・田原 ☎084-999-6321]



▲五本松の家外観。旧・福山競馬場側から望む。



▲施設サイン表示



▲正面玄関



▲デイサービス 五本松の家



▲地域交流スペースよつばに設けたキッチン



▲共同生活室の標準トイレ。「前傾姿勢支持テーブル」を設置しています。



▲各ユニットには、絵入りのサイン表示を設置



▲1階の特養共同生活室「どんぐり」



▲個室(位置により形状は異なります)



▲共同生活室の脱衣室と浴室



▲浴室

1 ■ 「五本松の家」開設の背景と経緯

祥和会グループは、1976年の「大田病院」(現在の脳神経センター大田記念病院)の開院から40年にわたり、脳血管障害を中心とした急性期医療に取り組んでまいりました。1996年、訪問看護事業を始め、以後、在宅サービス分野にも進出。2014年の診療報酬改定以降は、国が推し進める「地域包括ケアシステム」に対応し、「地域包括ケアにおけるコア・ホスピタル」となれるよう、「高齢者の救急疾患の受け入れ」「地域包括ケア病棟の新設」等に取り組んでまいりました。

高齢化社会では、病気になった場合、地域における医療や介護の事業体は、急性期、亜急性期、回復期、生活期(在宅療養)、そして、人生の最期に関わる終末期に至るまで、円滑な「ケア・サイクル」にのっとったサービスを提供できることが、求められています。

祥和会グループは、この「ケア・サイクル」を福山市南部で実現できるよう、医療を中心とした既存のサービス提供と合わせ、2016年9月、福山市の認可を得て、「社会福祉法人祥和会」を設立。複合型施設「五本松の家」を建設することといたしました。

2 ■ 「五本松の家」の施設概要

施設名称	五本松の家 (ごほんまつのいえ) 【名称の由来】 江戸時代、干拓土手の終端に植えられていた五本の松が由来とされる地名「五本松」。現在の住居表示では正式な地名ではなく、草戸町の南端、沖野上町の西端、多治米町の北西端のエリアを総称して、「五本松」と呼び、バス停名称、町内会名として使われています。 当施設は、地域との共生、地域とともに協働することを目指しており、多くの人に親しまれている「五本松」の名を冠することといたしました。
所在地・代表電話番号	広島県福山市多治米町六丁目14番26号 〒720-0824 代表電話番号 084-999-6321 ファックス番号 084-999-6322
運営主体	社会福祉法人祥和会 (しゃかいふくしほうじん・しょうわかい)
施設の内容	①地域密着型特別養護老人ホーム 五本松の家 ▼定員29名 [10名×2ユニット、9名×1ユニット] ▼全室個室 29室 [10室×2ユニット、9室×1ユニット] ▼全室に洗面台付 ▼キッチン、リビングダイニング、脱衣室、浴室、トイレ、健康管理室、介護材料室を共同利用。 ▼家族宿泊室を設置。遠方のご家族、ご友人が宿泊可能。また、お看取りの際、待機室として利用可能。 ②ショートステイ 五本松の家 [短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護] ▼定員20名 [10名×2ユニット] ▼全室個室 20室 [10室×2ユニット] ▼全室に洗面台付 ▼キッチン、リビングダイニング、脱衣室、浴室、トイレ、健康管理室、介護材料室を共同利用。 ③デイサービス 五本松の家 [通所介護・介護予防通所介護] ▼最大定員29名。2017年度中は定員20名で運営。
職員数	6月1日現在で、41名を予定。

建物の概要	■鉄骨造 3階建 ■敷地面積 1,396.01 m ² ■延床面積 2,054.34 m ² 【内訳】 ①地域密着型特別養護老人ホーム 757.73 m ² ②ショートステイ 517.28 m ² ③デイサービス 96.27 m ² ※共用部分を除く。					
	フロア構成	階	方角	ユニット名称	施設種別	定員
	3階	西	はやぶさ	ショートステイ	10名	7月1日サービス開始
		東	あしだ	ショートステイ	10名	
	2階	西	たけのこ	特養	9名	6月1日入居開始
		東	しらゆり	特養	10名	
	1階	東	どんぐり	特養	10名	6月1日サービス開始
				デイサービス	20名	
				暮しの保健室(地域交流スペースよつば)		
				事務室・厨房・家族宿泊室・相談室		

※ユニット名称等には、多治米学区にある「子ども会」の名前を使用しています。地域に住む高齢者にとって、親しみのある名称を用いることといたしました。

3 ■ 「地域密着型特別養護老人ホーム 五本松の家」の「施設方針」と「私たちが目指す施設のイメージ像」

社会福祉法人祥和会は、設立にあたり「**私たちは、医療、介護、ヒューマンサービスを通じて『よろこび』と『さいわい』をつくりだし、備後の人々の心豊かな人生に貢献します**」という理念を制定しました。

この理念達成のため、「地域密着型特別養護老人ホーム 五本松の家」の「施設方針」と「私たちが目指す施設のイメージ像」を定めました。

なお、「ショートステイ 五本松の家」も同様の方針、イメージ像で運営いたします。

施設方針	①入居者一人ひとりの生活と自律を支援する。 ②支援は、職員だけでなく、家族や地域住民とともに行う。 ③地域における「つどいの場」となることをめざす。 ④ベテランも新人も、同じ介護技術レベルのサービスを提供できる施設をめざす。
私たちが目指す施設のイメージ像	●お一人おひとりの「わが家」、「ホッとする空間」。 ●「ここに住んで良かった」と入居者から言っていただける運営。 ●入居者の「その人らしい」暮らしができる運営。 ●入居者のご家族やご友人が気軽に訪れ、一緒に過ごせる施設。 ●自然と、さまざまな世代や立場の人が集まる「つどいの場」。 ●職員が自ら住みたくなるような施設。 ●施設の全職員が「介護のプロ」である施設。

4 ■ 「地域密着型特別養護老人ホーム 五本松の家」の運営上の特徴

「地域密着型特別養護老人ホーム」は、入所定員が29名以下の小規模な施設で、原則として施設がある市町村に居住する人だけに利用が限定されています。

提供されるサービスは、特別養護老人ホームと同じです。地域密着型サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行います。原則、要介護3以上の方が入所対象です。

①五本松の家は、入居前の「暮らし」(ライフスタイル)の継続を大切にします。

- (1)入居前にご自宅で利用されていた家具、雑貨、食器、衣服などを、施設に持ち込みご利用になれます。
- (2)入居者それぞれの起床時間、食事、お酒や菓子などの嗜好品、家事、入浴など、その方のライフスタイルに合わせたケアを行います。

②職員の固定配置を推進します。

ユニットごとに職員を固定配置し、「顔なじみ」の関係を作り、「いつもの人」からケアを受けている安心感を生み出します。

③祥和会グループのネットワークを活かした健康管理をいたします。

- (1)医師による診察・治療が必要となった場合、祥和会グループの脳神経センター大田記念病院の医師が往診、訪問診療を行うほか、救急搬送受け入れも行います。近隣の病院・診療所とも連携します。
- (2)必要に応じ、祥和会グループの虹の会訪問看護ステーションと連携した「訪問看護」の提供を受けます。
- (3)歯科診療は、訪問歯科診療に取り組む「猪原歯科・リハビリテーション科」と連携します。

5 ■ 「ショートステイ 五本松の家」について

- ①ショートステイ五本松の家は、2017年7月1日にサービスの提供を開始します。これに先立ち、6月上旬より、福山市内の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所に利用要項を配布し、利用申し込みの受付を開始します。
- ②ショートステイは、施設に短期間だけ入所して、食事や入浴といった生活援助サービスや機能訓練を受けるサービスです。利用できる期間は1カ月で最長30日までとなっています。要支援1以上の人が使えます。
- ③介護をしている家族が冠婚葬祭や旅行にいくとき、入院するとき、介護疲れになったときに利用することを想定したサービスです。
- ④在宅介護を続けていくためのプランの組み立てを行うときや、家族が介護実技を身に付けるために入所することもできます。

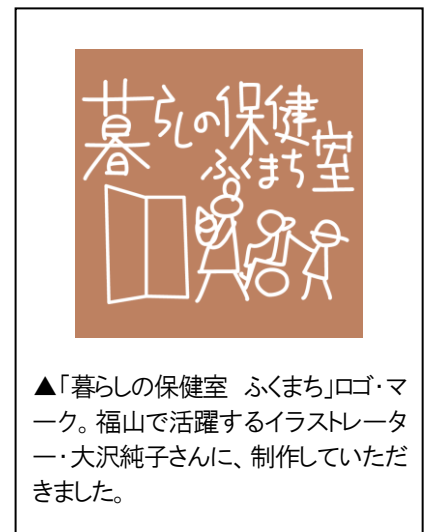
6 ■ 「デイサービス 五本松の家」について

- ① デイサービス(通所介護)は、送迎バスによってデイサービスセンターに通い、さまざまなレクリエーションのほか、食事や入浴といった生活援助サービスを合わせて受けることができるサービスです。要支援1以上の人が使えます。
- ② 自宅に閉じこもりがちになってしまう要介護者が、デイサービスに通うことで、他の利用者と交流することで気分転換を図れるほか、要介護者がデイサービスに通っている間に、家族が買い物や清掃などを済ませることができます。

7 ■ 「暮らしの保健室 ふくまち」について

「暮らしの保健室」は、「株式会社ケアーズ 白十字訪問看護ステーション」を経営する秋山正子さんが、東京都新宿区の都営戸山ハイツ団地で、2011年7月に始めたもので、保健師や看護師などの専門職が地域にお住まいの方々の暮らしや健康、医療、介護のご相談を受ける施設です。この名称と、運営のノウハウについての利用許諾を得て、五本松の家1階の地域交流スペースを「暮らしの保健室 ふくまち」と名付け、6月1日にオープンいたします。広島県内では初の「暮らしの保健室」となります。

「暮らしの保健室」は相談機能だけでなく、地域交流の拠点として、様々なイベントや講座、教室を開催してまいります。



【暮らしの保健室 ふくまち 活動内容】

- 健康相談・介護相談 ●高次脳機能障害に関する相談・支援 ●子育て中の母親・父親の支援 ●介護予防教室(脳卒中・認知症・高次脳機能障害等) ●介護指導 ●地域の子ども達を対象とした支援(夏休み等に学習支援や居場所の提供の実施) ●地域の各種団体(町内会・子ども会等)と連携して行事の開催 ●パソコンやスマートフォン、SNSに関する教室の開催等。

8 ■ 本件についてのお問い合わせ

【「五本松の家」の詳細、内覧会については・・・】

- 社会福祉法人祥和会・地域密着型養護老人ホーム 五本松の家 担当:田原久美子
☎084-999-6321 FAX084-999-6322
電子メール tahara@shouwa.or.jp

【祥和会グループについてのお問い合わせ・】

- 社会医療法人祥和会・広報コミュニケーショングループ 担当:島津 英昌・神野 貴志
☎084-975-3909 [広報直通] FAX084-926-6798
電子メール shimazu-hi@shouwa.or.jp